宇部市立東岐波小学校 学校だより(令和7年11月号)



日の山



https://www.ube-ygc.ed.jp/hke/

学校教育目標:ふるさと東岐波を愛し、夢の実現に向けて意欲的に学ぶ子どもの育成

10月24日発行

特別支援教育について

先月の学校だよりの「人権教育について」のコラムに、「まず、知ることが大切」とありました。今月は「特別支援教育」について知っていただくことを念頭にお話したいと思います。

「特別支援教育」とは、学習や生活上、支援を必要としている子ども達に対して、将来の自立や社会参加に向けて、一人ひとりに必要な支援を行うことです。2001年にWHOで採択されたICF「国際生活機能分類」での障害観の転換を経て、2007年に特別支援教育が法制化されたことにより、授業のユニバーサルデザイン化のように特別支援教育の視点を取り入れた授業も行われるようになり、全ての学級を対象に個に応じた指導、支援を行うことが当たり前になりました。

その後、2012年に共生社会の形成に向け、インクルーシブ教育システムを構築するという学校教育の方向性が示されました。インクルーシブとは、全てを包み込むと言う意味です。インクルーシブ教育とは、障害の有無にかかわらず、すべての子どもが一緒に学ぶ仕組を指します。基礎的な環境整備や合理的配慮という社会生活に平等に参加できるように、それぞれの特性に合わせて行われる配慮により、無理のない学習環境の確立を目指すことになりました。子ども達が、単に一緒の教室で学ぶだけでなく、集団の中でいろいろな人とつながっていくことが期待されています。また、本校の取り組んでいる自由進度学習もインクルーシブ教育システム実現の一端を担っています。

最後に、子ども達への特別支援教育への理解を深めるために伝えている話を記します。人間は一人ひとり違っているのが当たり前で、勉強が苦手な人、運動が得意な人などいろいろです。苦手なことやできないことがあって困っている時に、先生に教えられたり、助けられたりすることは、特別扱いではなく、当たり前のことです。誰でも困った時には支援を受けられることで安心して生活することができます。通級指導教室や支援学級は、「場」や「学習内容」の学び方の違いはありますが、一人ひとりが大切にされ、ステキな大人になるために自分の良いところを伸ばす勉強をする場所です。

教職員全員で、落ち着いて過ごせる教室環境づくり、一人ひとりを大切にする学級経営、「分かる」「できる」を実感できる授業づくりをめざして、学校全体で子ども達を支援しているところです。全ての子ども達が、お互いの違いを認め合い、良さに気付き、苦手なことを克服しようと、自分自身を励まし、努力している友達のがんばりを応援できる人であってほしいと願っています。正しい認識を育てていくために、これからも保護者、地域の皆様のお力をお貸し下さい。どうぞよろしくお願いします。

あじさい学級担任(特別支援教育校内コーディネーター)◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

お知らせ

育休中であった吉○○○ 教諭が、育休終了の 10月19日をもって、一身上の都合により退職い たしました。本校在任中は、大変お世話になり ました。ありがとうございました。

11月の日の山レストラン

11月の日の山レストランは、地域行事(わらぼて作り)の後にオープンします。

記

- 1 日時 11月15日 (土) 12:00~
- 2 場所 東岐波ふれあいセンター
- 3 持ってくるもの 食事代100円

人権教育参観日 & 人権講演会

10月18日(土)に人権教育参観日を行いました。多くの方にご参観いただき、ありがとうございました。

また、授業参観後に人権講演会も開かれ、4年生以上の児童と保護者、地域の方々にご参加いただきました。

講師として、大阪からハンセン病回復者支援センターのからお二人をお招きし、ハンセン病について、その問題やハンセン病回復者としての実体験をお話しいただきました。

正しい知識をもって、判断し、 行動することが、ハンセン病問 題を含む人権課題の解決や多く の人の幸せにつながることを実 感できる時間となりました。

講演会後、PTA作業を行いました。校舎内外の環境整備にご協力いただき、ありがとうございました。

